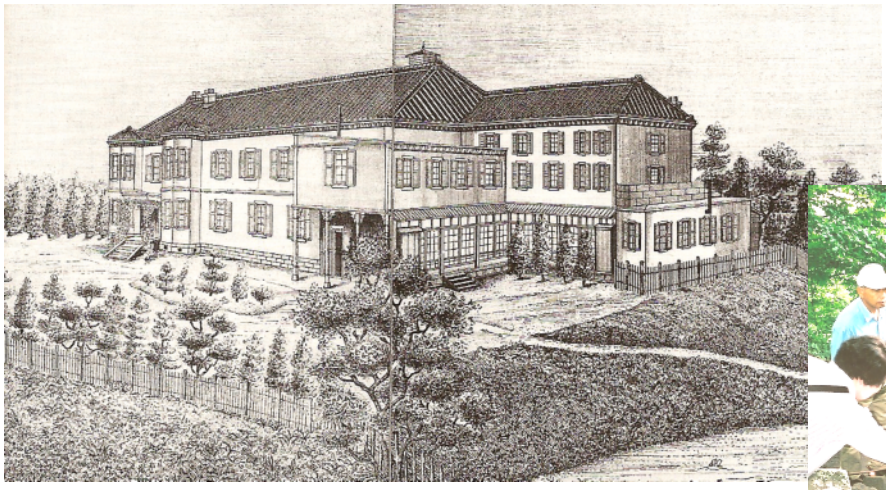
No. 10　2008.5.25

歴史ロマン古道ニュース

REKISHI KOKAIDODAN

【発行】歴史古街道団
ホームページ http://homepage3.nifty.com/kokaido/
事務局 〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘4-36-21 APT1・2・3-302
TEL/FAX 042-389-5534
宮田太郎（歴史古街道団 団長）



アイザック・フェリス女学校（1875年・横浜・山手178番）
「日本絵入商人録」（1886）より　横浜開港資料館蔵　雑誌『横浜』より

尖石遺跡（長野県茅野市）の森にある尖石（とがりいし）。
縄文人たちが石器を研いだ条痕がある

山と丘陵と海を結ぶロマンを探る

歴史古道と関連する遺跡を活用しよう

2008年度活動方針　歴史古街道団団長・宮田太郎

歴史古街道団は5月25日、多摩市関戸公民館で第4回定期総会を開き、2008年度の活動を本格的にスタートさせます。思い起こせば早いもので、今年の10月には古街道団結団以来5年目を迎えることになります

2008年度の活動ポイントを要約すると次の4つ。

1、年々消滅の危機にある町田市の歴史古道を、ビジョンを持って保全・保存するために様々な提案や取り組みを行なう。
2、古街道ガイドとそれを指導していくガイドリーダーの養成をさらに充実させる。
3、関東北部地域や多摩とも縁の深い“横浜本牧・山手”との地域交流を実現させる。
4、防人まつりを更に進化させ、今年も意義あるイベントとして成功させる。

№10

歴史古街道団の基本的な考え方は変わりませんが、今年は別項の3点を重点にして、地域交流を少しずつ広げ、私たちの活動の理念や信念の啓蒙を行ない、人生を楽しみながら、歴史古道と関連する史跡・遺跡・伝承地の保全と活用に理解ある仲間を増やしていきたいと思います。

「古道」が持つパワーは、私たちに感動を与え、元気にしてくれる尊い財産でもあります。このパワーを享受することは人生を豊かなものにする一歩です。この楽しみは、一緒に歩いた方でなくては味わえないでしょう。参加は会員でなくてもいつでもどなたでもご参加頂けます。どうぞ、ご家族・ご友人をお誘いのうえ、お気軽に古道を一緒に歩きましょう。

①各地の歴史古道を守り、夢のある活用策を推進する
②“道”を基にした地域・地方の文化＆事業交流を図る
③志ある研究者と賛同者による新時代の歴史調査を進める

海に向かう

2008年7月から10月

宮田太郎団長と行くロマン紀行

ガイドをする宮田団長

古街道･探索ウォーキング

みやたたろう古街道･探索ウォーキング

●6月19日（木）

『厚木･八菅山の修験の里と
ヤマトタケル伝説を探る』

【集合】◎JR 横浜線･淵野辺駅から出発組＝淵野辺駅改札口前9：00集合～淵野辺駅南口バス停から「淵 59 系統半原行き」乗車～愛川町中津局前下車（約 30 分間）

◎小田急小田原線「本厚木駅」厚木バスセンター出発組＝本厚木駅「中央口改札前」9：15集合～歩きで５分の厚木バスセンター厚 59 系統 10 番乗り場「三増行き・愛川役場方面行き」に乗り、愛川町中津局前下車（約 30 分間）

【合流集合地】＝愛川町中津局前バス停に10：15頃集合

【コース】中津局前～山十邸～中津川と八菅神社（昼食・弁当持参）～八菅山と経塚～山伏の里～龍福寺～中津バス停（解散17:00 頃）～淵野辺駅または本厚木駅

【内容】関東三大修験道の本拠地、厚木愛川町の八菅山(はすげさん）はヤマトタケル伝説に彩られ蛇形山とも呼ばれた修験山伏たちの聖地。今でも静かな里には数十件の山伏や御師、先達の家が点在しています。厳かな八菅神社の森から山頂の経塚まで実際に上り眺望を楽しみます。20分程であがれる山道は、初夏の香りに包まれていることでしょう。

みやたたろうビデオ鑑賞会＆ショートウォーク

● 7月5日（土）

幻のビデオ“ザ・早ノ道”
鑑賞会と現地探索会

『絶景！“鎌倉街道早ノ道”
栗木･真光寺尾根をゆく』

【内容】鎌倉へいち早く駆けつけることができた早ノ道は、鎌倉幕府の高速道路でもありました。今から20年ほど前に団長･宮田が会長を務めていた古街道帥人会が作成したビデオ“ザ･早ノ道”を午前中に鑑賞し、午後は幻の鎌倉街道といわれる早ノ道がいまどのように変化したか、東京都と神奈川県の県境の現地を歩きます。丹沢や源氏伝説の鶴川尾根を眺めるスリル溢れる高台から、絶景のビューポイントが豊富な神奈川県麻生区栗木と町田市真光寺の尾根を歩くさわやかなミニウォークです。

①ビデオ鑑賞会/10：00～12：00関戸公民館第3学習室

②早ノ道現地ミニウォーク/13：30～小田急線「栗平駅」改札口前集合　コースは栗平駅～御嶽神社～常念寺～風の谷幼稚園～県境尾根ビューポイント～桐光学園脇・上杉館跡～森の中の早ノ道～お犬様塚～黒川分教場跡～黒川駅（解散/16:00）約 2.5 キロ

みやたたろう古街道･探索ウォーキング

●8月3日（日）

本牧神社お馬流し神事見学とミニウォーク

『海人と馬牧の丘･本牧和田山と三溪園を探る』

【内容】横浜の本牧や山手は昔から独立した島のような山でした。いまこのアイランドの歴史素材を活かしたまちおこしを団長が進めています。本牧は中世からその名があり、頼朝も関わる本牧十二天社（本牧神社の前身）の伝説や鎌倉時代から三浦系の平子氏がいたようです。東京湾を見渡す和田山は和田一族との関わりがあるのでしょうか。8月2日と3日に行われる不思議なお馬流しの神事を見学し、景色の良い和田山に上り、重要文化財溢れる三溪園の散策と昔の海岸探しをします。

【コース】JR 根岸線「石川町駅･元町中華街出口改札前」9：00集合（宮田の携帯＝０９０－７００２－３４３１）～路線バスで本牧宮原バス停～本牧神社（10:00 からお馬出し神事ほか）～昼食（ファミレスほかで自由・弁当を取る公園あり）～和田山～三溪園～石川町駅（解散/16:00 頃）約３キロ

みやたたろう古街道･探索ウォーキング

●9月23日（火･祝）

『大宮氷川神社と直線参道の謎』

【内容】武蔵一ノ宮は多摩市小野神社でなくここ氷川神社であったという説があります。長い参道は、一般説の筑波山ではなく日光男体山に向き男体･女体信仰と関係あるという団長の新説を紹介し現地を探っていきます。

【コース】ＪＲ大宮駅10：00集合　改札前広場“豆の木”前に集合～一ノ宮通り～氷川神社参道～天満神社～市立博物館～神官家～氷川神社弁財天池～昼食（そば大村庵、ファミレス有り。弁当自由）～氷川神社境内散策（客来神神社ほか）～大宮公園～埼玉県立博物館～大宮第二公園と見沼・芝川旧河路～見沼代用水～寿能城～東武野田線「大宮公園駅」。（解散/15:45 頃）約４キロ。

古街道･探索ウォーキングの共通参加事項

◆参加費＝団員700円（ご夫婦は2人で1,000円）
一般は1人1,000円。

◆持ち物＝雨具、飲み物持参。昼食は飲食店利用の場合と各自弁当の場合がありますので詳細は各案内参照。

◆雨天の場合は基本的には中止（ただし小雨の場合実施することがあります。朝7時半までに実施か否かを本部事務局（TEL 042-389-5534）までお問い合わせ下さい。（それ以降は宮田団長の携帯電話 090-7002-3431 まで）

鎌倉街道探索

の史跡ウォーキング

みやたたろう古街道・探索ウォーキング

●10月11日（土）

『大船・田谷の仏教洞窟探検と長尾砦を探る』

【内容】世界遺産になってもおかしくないような仏教洞窟が神奈川県大船にあります。冬暖かく夏は涼しく今でも修行の場として勤行が続けられています。上杉謙信の本来の名前である「長尾」に関わる一族がいた大船の長尾の里の砦跡や古道、小田原北条氏の拠点・玉縄城などを現地に探っていきます。

【コース】ＪＲ横須賀線「大船駅南口改札前」に10：00集合～西口前からの路線バスで洞窟ラドン前下車～田谷の洞窟～御霊神社～常勝寺～昼食（そば侘助、またはコンビニ付近で自由）～小雀町と田谷町の境界古道～玉縄と長尾の境界古道～長尾砦～玉縄城跡～植木のバス停～大船駅（解散/16:00 頃）約６キロ

ガイドリーダーと行く

史跡・探索ウォーキング

ガイド・ウォークの共通参加事項
・参加費＝団員/500円　一般/700円
・申込不要　・弁当・雨具持参

ガイドリーダーと行く史跡探索

◆9月13日(土)

『築井(津久井)紀行』

小山田与清（ともきよ）の道をたどる (1)

ガイド：田中次雄(団員)　・小林清三(団員)

【コース】ＪＲ線橋本駅改札9：30集合＝城山総合事務所入り口～久保沢～谷ケ原～普門寺～中沢（日本一のウラジロガシ）～津久井湖水の苑地～津久井湖花の苑地～城山公園パークセンター～津久井城址～津久井湖花の苑地バス停解散（16：00 頃）

★連絡先：田中次雄（☎080-5501-0374）

◆10月 25 日(土)

『築井(津久井)紀行』

小山田与清（ともきよ）の道をたどる (2)

ガイド：田中次雄(団員)　・小林清三(団員)

【コース】ＪＲ線橋本駅改札9：30集合＝三ケ木～沼本～石老山入口～正覚寺（俳句寺で有名）～顕鏡寺～石老山～ピクニックランド・バス停解散（16:00 頃）戻って解散

★連絡先：田中次雄（☎080-5501-0374）

※小山田与清（おやまだともきよ）/1783～1847、多摩出身の幕末の三大家。著書は、築井紀行を記した『三保道紀(みほじのふみ)』他

■7月21日（月・祝）

日帰りバスツアー

500万本のゆりの花畑！長野富士見高原ゆりの里

『古代甲州道を探せ！
八ヶ岳山麓・富士見信濃境編』

【内容】多摩よこやまの道で拾える蓼科産の黒曜石矢じりの来た道を八ヶ岳高原にじっくりと探る旅です。八ヶ岳山麓富士見町は多摩市の友好都市。7月中旬～が盛りのゆりの花満開の高原は感動的です。縄文ロードと平安期までの多摩に続く？古代道「古代甲州道～」を追って今回はじっくりと現地を味わいつつ探索します。考古館で国宝級の土器を見学、特に神像筒型土器はメソポタミア文化の影響？も受けたと考えたくなるほどスゴイもの。古代・中世・近世の甲州道の変遷を探検します。

【コース】聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前7：45集合～小淵沢 IC～小淵沢諏訪社巨岩祭祀遺跡～富士見高原ゆりの里～昼食～信濃境と井戸尻の古道・考古館～甲州街道・蔦木宿～瀬沢合戦場と諏訪神社～御射山神戸と古道～中央道～聖蹟桜ヶ丘駅
18：30 頃到着予定。

【参加費】　7,000円（保険代込み、昼食代と拝観料は別途個人負担）

【定　員】　24名（7月11日〆切、先着順）

【申込、お問い合わせ】
歴史古街道団本部　☎042－389－5534または宮田携帯☎090－7002－3431

夏の高原散歩

■9月5・6日（金・土）

1泊2日バスツアー（長野県木曽）

『木曽の開田高原（かいだこうげん）・木曽馬の里と鰤街道（ぶりかいどう）の謎』

【内容】木曽の人々は毎年正月には富山湾の鰤（ぶり）を食べますが、なぜ日本海の鰤なのか、そしてなぜ富山なのか、その謎を解くヒントは養命酒や木曽の薬で知られる百草丸にあるのかも知れません。富山～飛騨高山～木曽福島にいたる鰤街道はまさに御嶽修験・木曽駒ケ岳修験という山伏達と、富山の薬売りが何か密接な歴史的関わりを持つのかもしれません。古来、日本馬の牧が広がっていた多摩丘陵にも、鎌倉幕府の流鏑馬の師匠であった小山田氏6人兄弟の時代を再現することを夢見つつ木曽馬の里を歩いてみましょう。

【コース】聖蹟桜ヶ丘駅西口7：45集合～中央道～塩尻 IC～平出遺跡と資料館～木曽奈良井宿・マリア観音・千体地蔵・奈良井城・鎮神社～宮ノ越宿・巴淵・南宮神社・旗揚げ八幡・木曽義仲館ほか～木曽福島宿(泊)～寝覚めの床～御嶽山若宮～里宮～開田高原木曽馬の里と鰤街道～塩尻 IC～中央道～聖蹟桜ヶ丘駅 16:30 頃到着予定。

【参加費】　19,700円（保険代込み、昼食代と拝観料は別途個人負担）

【定　員】　24名（先着順）

【申込、お問い合わせ】郵船トラベル㈱☎03－5213－6790
（担当：諸井　☎03-5213-6237）

横浜山手の洋館・ポール邸（山手 125 番 B）『横浜』より

諏訪湖・蓼科高原から多摩へ

多摩古道（多摩ロード）は昔と今と未来

諏訪湖と多摩がつながっていた？！というと、多くの人は不思議な気がするかもしれない。しかし黒いガラス質「黒曜石」が石器材料として八ヶ岳や蓼科から多摩に運ばれている事実や、同じく多摩の遺跡から出土する「ヒスイ」の大型ペンダントも、なるほど中央構造線に沿う新潟・糸魚川付近の姫川から八ヶ岳や蓼科山嶺・諏訪地方を経て多摩に来たことがわかってきているのである。かつては間違いなく「道」でつながり人と人の交流があったことが想像され、あらためて多摩古道の壮大さに気がつくのである。

★今年度は蓼科・八ヶ岳から東京湾や相模湾につながる古道の流れが活動の大きなテーマの一つになります。ご期待下さい。

1　縄文黒曜石ロードと本牧・山手ロード

京王線・聖蹟桜ヶ丘駅付近に集まる複数の古街道群＝「多摩古道」のうち、大栗川に沿う大街道　『仮称：古代甲州道』は、相模原台地の橋本や城山町を経由して八ヶ岳へ、蓼科高原や諏訪湖へと続き、さらには木曽路で京都・奈良にも続いていた。多摩ニュータウン遺跡の多くがこの街道沿いに分布していることがそれを教えてくれているかのようだ。

古代人は、この相模野からたった一つの小さな峠（多摩境駅付近）越えで武蔵野へ出られる道を知っていたに違いない。この峠に立った古代人は、後に絹の道・浜街道の「浜見場」（町田市小山の内裏トンネル上付近一帯）ともいわれるようになった高台から、方向を西に転じて「海」を目指すことも出来た。それは、多摩丘陵の地形的流れの方向に従って、東京湾の金沢八景・六浦湊や本牧海岸、磯子湾などの海に出る道だ。

ずっと後の幕末明治の生糸活況期には、本牧には原三溪が居を構え、国宝や重要文化財が数多くある敷地を三溪園として市民に開放した。近年多くの外国人が訪れるこの本牧と外人居留区のあった山手において、今年、歴史をテーマにしたまちおこし「本牧・山手アイランドプロジェクト」が始まる（プランニング参画＝宮田太郎）。「和」を基調とした布や織物、幟、風呂敷、食器、インテリアなどの復活バザール、そしてかつてイギリス軍とフランス軍が日本で初めてブラスと太鼓で日々行進し、洋楽を演奏した地、国家君が代が始めて薩摩軍楽隊によって演奏された地にちなんで、ブラス（管楽器）をテーマにしたイベントも行う計画だ。ブラスはクラシックからジャズ、ポップス、ロックどんな形でも表現できる楽器類。かつてジャズの聖地でもあった本牧は、ゴールデンカップスやクールス、キャロルが育ち、淡谷のり子や江利チエミの歌声も似合う不思議な町でもある。谷崎潤一郎や伊藤左千夫、山本周五郎ら文人や下村観山、岡倉天心、横山大観ら画家たちもこよなく愛した土地であった。かつては居留区の外交官や商人たち専用の遊歩道や、海水浴場、根岸競馬場があり、太平洋戦争後は米軍ハウスが立ち並んでいたが、いまは三溪園と和田山公園、旧集落街を中心に静かなたたずまいをも残している。ここは「八王子街道」や「絹の道」の終着点横浜の奥座敷であり、堀に囲まれたアイランドでもあるのだ。日本文化を体験できる貴重なエリアや三溪園のある美しい町に、いま、外資系 IT 企業の外国人たちから住宅や保養所として熱い視線が寄せられている。

昭和 39 年の三溪園前　『（財）三溪園保勝会 50 年史』より

NHK 学園主催・歴史古街道団企画協力ツアー

■9月30日（火）～10月2日（木）　2泊3日

まほろばの里・飛鳥山ノ辺の道（あすかやまのべのみち）と天香具山（あまのかぐやま）を歩く

～新視点！奈良の聖地・飛鳥の古道と遺跡探索の旅～

講師：宮田太郎

【参加費】東京出発組は　98,500 円
　　京都出発組は　73,500 円

【定　員】 40 名（先着順）　【締め切り】 9 月 20 日（土）

【内容】奈良から飛鳥へ、山ノ辺の道は古代政治の舞台に残る歴史ロマンあふれる道です。春日山や三輪山の貴重な原生林や神武天皇が大和で始めに立った天香具山にも上ってみます。飛鳥の中心・真神原の人々が東京・多摩の府中や青梅の御嶽山を造り、壮大な古代都市計画を関東平野全体で行ったという新説を現地に立って提示し謎解きしていきます。新たな発見にあふれた歴史の道探検紀行です。

【日程とコース】☆一日目/9月30日（火）東京駅～京都駅～平城駅付近の神功皇后陵墓・垂仁天皇陵墓ほか～平城京～東大寺二月堂と良弁杉～若草山・鶯塚古墳～世界遺産・春日山原生林～春日大社～ホテル　☆二日目/10月1日（水）ホテル～黒塚古墳～箸墓古墳とホケノ山古墳（散策）～昼食（三輪そうめん）～飛鳥山ノ辺の道（散策）元伊勢・桧原神社ほか～大神神社（三輪山）～ホテル　☆三日目/10月2日（木）ホテル～藤原京～天香具山、多摩と縁の深い謎の神社、南浦集落～昼食～飛鳥石舞台（ピラミッド新説）～キトラ古墳と北浦集落～天武持統陵墓～高松塚古墳～飛鳥石像庭園遺跡～水落遺跡ほか～京都駅～東京駅。

※ツアー詳細は郵船トラベル㈱〔担当〕諸井まで
☎03－5213－6237

※部屋は２名１室。１名部屋希望は別途追加あり。

多摩から横浜本牧・山手へ

を繋ぐ架け橋　歴史古街道団団長　宮田太郎

そこで本牧を核とする日本民家再生のための「NPO エコリサイクルバンク」が外国人や企業への民家の貸し出しや販売・修復を始め、新たに出来た「ＮＰＯ横浜楽座を」中心に“英語で伝える日本文化”のガイドリーダー養成講座やウォーキング、各種イベントを古街道団と協働していくことになったのである。

本牧の中心「和田山」は謎が多く、三浦系あるいは熊野系海人文化と中世馬牧文化が融合した？不思議な本牧神社の祭りがあり、これを見る8月3日（日）から古街道団の実踏と調査・研究がスタートする。

室町期の嘉吉2年(1440年)の宝生寺（横浜市南区）文書には「本牧」や「蒔田」「横浜」の地名が見られ、当地方には多摩丘陵にもゆかりの深い横山党や平一族と系図が重なる平子氏（たいらこし）がいたことがわかっている。

２、多摩や相模野から諏訪湖への古代道路

昭和40年に始まった東京都と神奈川県にまたがる多摩ニュータウンの建設工事。それに伴い発見された約1千箇所の遺跡は、まさに大栗川・乞田（こった）川に沿って縄文時代から江戸時代まで多くの集落が営まれて広がる様相が明らかになった。中でも特筆すべき遺跡は京王堀の内駅の西方1キロメートルの台地先端上に見つかった NO. 107番遺跡（八王子市松木）であった。ここは古代奈良時代後半～平安時代にかけての官衙的（役所的）な建物群や、役人が使用したような硯も見つかり、また手動回転轆轤（ろくろ）式木工機械のある工房を伴う、大量の木工製品（中には「官」「位」の焼印あり）が見つかった場所である。この時期と同じ時代の遺跡が相模原市相原の二本松に近い相原森ノ上遺跡であった。ここにも官衙的な倉庫群と大きな溝が見つかっているが、これは今に思えば平安時代の役所である高座郡衙あるいは相模国高座郡美濃郷衙跡だったのではないか。この双方は実は一本の古街道でつながっていた可能性が高い（宮田）。途中にはたった一つの小さな峠（町田市小山の内裏トンネル周辺）しかなく、相模野から武蔵野へたった一つの峠で越えられるのはここだけである。しかも、ここは大栗川の支流筋にあたり、多摩ニュータウン遺跡は全ての時代においてこの線に沿って遺跡が最も多く集中しているのである。ここにあったであろう古街道を仮に「古代甲州道」と古街道団では呼んでいる。

長野県蓼科・八子ケ峰

つまり、小仏峠を越えて裏高尾に抜ける甲州街道は戦国時に開かれたものであって、それ以前は相模川に沿って、相模湖町の小原宿～千木良～津久井湖町寸嵐・三ヶ木～城山町で相模原台地に出て～橋本の森ノ上付近～橋本宮下本町・天縛皇神社付近～境川～町田市小山の片所（多摩境駅）～南大沢～大栗川に沿って多摩市和田～一ノ宮～多摩川～国府府中というルートではなかったか。

そして、この古代甲州道の西側の延長線にあたる、山梨県巨摩郡高根町（現・北杜市高根町。八ヶ岳山麓）の台地上で航空写真から発見（1996宮田）した直線的古街道跡（諏訪湖に向けて真っ直ぐ伸びる）が繋がっている可能性が高いことに気がついたのである。この古道痕跡を調査中に案内板を見つけて存在を知った感激は忘れられない。その高根町にあった平安時代の倉庫群を伴う官衙的な遺跡「湯沢遺跡」は、多摩からのこの同じ街道上の古代役所あるいは駅家だったに違いないのである。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

会員の皆様には、今年度の「八ヶ岳・蓼科」から「本牧・山手」への古道の取り組みやウォークにぜひご参加いただき、また古布や「和」がテーマの布地や小物、風呂敷、世界の生地・布も含めた布のフリーバザール（本年晩秋を予定）に出店、御協力など、お力添えをお願いいたします。

朝日カルチャーセンター新宿　バスツアー

■10月23日（木）～10月24日（金）　1泊2日

紅葉の京都“東山と宇治”の歴史古道を探る

講師：宮田太郎

【内容】鎌倉幕府の武士達が京都に通った京・鎌倉往還や江戸時代の東海道が通る粟田口には、京都最古の神社・日向大神宮の神域があり、天智天皇の陵墓もあるのはなぜでしょうか。鎌倉幕府の出先機関、六波羅探題付近に平家屋敷と源氏の接点を探り、清水寺の本来の意味を考え、国宝三十三間堂へ。二日目の世界遺産・醍醐寺三宝院ではかつて当寺で得度した経験のある団長が思い出の地へ案内致します。また相模国とも縁が深い古代史ロマン溢れる宇治では世界遺産の宇治上神社や平等院と魅力ある古街道などを探索していきます。深い京都の魅力がいっぱいのツアーです。

【日程とコース】☆一日目/10月23日（木）ＪＲ東京駅～ＪＲ京都駅～貸切バスで六波羅密寺～山科区日ノ岡の日向大神宮～東海道～昼食（日ノ岡周辺）～天智天皇山科陵と琵琶湖疏水～東山ドライブウェイ～将軍塚～清水寺～三十三間堂～ホテル泊

☆二日目/10月24日（金）ホテル～醍醐寺（三宝院ほか）～昼食（醍醐寺周辺）～宇治駅近くの菟道稚郎皇子（うじのわきのいらつこ）御墓（相模国四之宮と深い関係地）～奈良街道～世界遺産・宇治上神社～平等院鳳凰堂・宇治川塔の島～ＪＲ京都駅。

◎京都東山宇治ツアーの事前講座も開催します。
8月21日 10：00～12：00　新宿住友ビル3階

※ツアー詳細は郵船トラベル㈱〔担当〕諸井☎03－5213－6237まで、事前講座は朝日カルチャーセンター新宿☎03－3344－2041までお問い合わせください。

ガイド・ウォーキングを振り返って

妙見尊「蛇より行事」に参加

平成19年8月7日(火)

稲城妙見寺の「蛇より行事」見学実施報告

ガイド：進藤　重孝

平成19年8月7日、暑い日が続くなか進藤の案内で稲城市百村の蛇より行事を中心としたミニ・ウォークを実施しました。関係者各位のご協力により無事にどうにかやることができ感謝に堪えません。

昨春4月、企画担当の中丸さんからミニ・ウォークの案内を依頼された時、いくら地元稲城のウォークであってもやれるかどうか全く自信がありませんでした。以前地元の文化財巡りのガイド講師を何度かやったことがありますが、それと古街道団の文化財巡りとはスケールもレベルも違い、どうにかやれて良かったと思います。

強いて反省すればもう少し時間があったらと思いました。八坂神社を見学したあと、時間があまりないからこのまま「蛇より行事」の方へ行こうという意見もあるなか、秋の例大祭には「三匹獅子舞」が行われる青渭神社をぜひ見ていただきたいと思い、駆け足同然のような早さで神社を見学して頂きました。「蛇より行事」の方は行事の終わり近くにどうにか間に合い、見ることができました。しかし、もう少し1時間は無理としても30分ぐらい時間があったら青渭神社の社務所の中にある青渭獅子舞の写真等見て頂き、すぐ近くにある謎の神社といわれている虎柏神社等を見て頂けたろうと思いました。

妙見尊の「蛇より行事」を見るのが主な目的でそれ以外は付録みたいなものでしたから、今回は仕方がありませんでしたが、機会があれば稲城の他の地区の文化財を見て頂き案内したいと思います。ご参加頂いた皆さん、ご協力ありがとうございました。

平成19年10月21日(日)

東浦和・見沼通船掘を歩く

参加者：浜野千秋

10月21日はウォーキングには絶好の日和となりました。集合場所に15分ほど前、府中本町駅に着くと、もう皆さんが東浦和に行っていますよと言われ、珍しく集合場所の変更かと思いながら、団員の方と東浦和に向かいました。

見沼通船掘に沿う道をさわやかな風に誘われて気持ちよく歩いていると、関と思われる復元された木造の第二関門、そして第一関門、なるほど木造でこんな簡単な構造で十分に役を果たすことが出来たんだなと考えているうちに見沼通船の船割りを担っていた役宅、鈴木家住宅に。ここのガイドさんが2分の1に復元された船の前で説明されたのは、この通船掘の目的等で、通船掘の開通により荒川、隅田川を通り、江戸へ見沼周辺で取れた農作物や薪などを、そして、江戸からは、油、日用品、肥料（おわい）などが、村々にもたらされました。

この中で面白い話として、その肥料ですが、庶民のものより殿様や大名のものは高値で売れるので川の水で薄めて、即ち、水増しして売りさばいていたようです。そうか、昔も今も考えることは同じだ。ここから水増しと言う言葉が出来たのか、と冗談を言いながら昼食の時間となりました。午後は通船に携わった船頭たちの信仰を集めた水神社、木曾呂の富士塚の史跡を奥村さんの説明を受けた後、見沼代用水東縁沿いに20分ぐらい歩いて、今度はこの先は開発中の処だと聞いていたが、整備途中のような遊歩道を約20～30分歩いて「浦和くらしの博物館民芸園」に到着。ここで休憩。ここまでの道中はもくもくとひたすらに歩く方、またこれまで余り話したこともない方と接して、団員同士の会話に花を咲かせていたグループもあり、コミュニケーションの時間として非常に大切な区間であつたと思います。　その後は大牧氷川女体神社、清泰寺等説明を受けて楽しく出発点の東浦和駅に15:37に戻り予定より7分オーバーなんて聞いて無事解散の運びとなりました。

団員達の

平成19年11月17日(土)

歴史古街道団ミニウォーキング

ガイド：山羽　孝

ミニウォーキングの講師を初めて引き受けました。引き受けてみて苦労したことは、ウォーキングの準備調査や資料づくりでした。私は自宅が埼玉県なのでウォーキングのコースは東京都東村山市から埼玉県所沢市にかけての鎌倉街道上道にしました。東村山市から所沢市に至る鎌倉街道沿いは史跡や文化財が多いところです。新田義貞の鎌倉攻めを歴史的に実証づけた「元弘の板碑」は現在東村山市の徳蔵寺板碑保存館にあります。徳蔵寺付近は古代の「武蔵悲田処」があったとされる候補地にも挙げられ、また中世の久米川宿推定地にもなっています。徳蔵寺の西には狭山丘陵が迫

「旧鎌倉古道」標識前で説明する山羽講師(東村山)

料亭で使う鮎は色々の方法で捕らえた。川鵜を使ったり、ひっかけと称する方法、水中に沈めておく「ど」、それから本題の寄せ網などである。寄せ網と称する漁法は川上から川下に向かって長い網を引いて、驚いて水面に跳ね上がる鮎を大きな手網でうけて捕らえる方法で川岸で曳く人夫が二人いるのである。この引き網には川柳の葉などをゆわいて使う。柳の葉はその葉裏が水中で銀色に光るので鮎はこの色に驚き飛び上がるのである。

私の知人のひとりが、この木曽面の遠縁に当たり、十四、五才の時、この曳き手を頼まれ、毎日この曳き子をしたという。子供であったのに、半日この仕事をすると木曽面の爺さんは五十銭呉れたという。その当時、五十銭、一円は大金であった。お金を貰って帰ると、母親に全部差出し、お小遣いは別に少額貰ったと云うが、昔の子供は貧しかった親を少しでも助けようという健気な心を持っていたのである。この少年も今は八十二才、頗る健康で老人達の世話をしている。

（平成十二年発行）

【著者紹介】井上正吉。大正8年生れ。多摩市関戸在住。現在も元気に田や畑を耕し、短歌・俳句を詠み、謡曲を習う。主な著書は『吉富の村人たち』『多摩の語りべ』『多摩の民話』『野翁小咄』など。

活動記録

り丘陵上には八国山の将軍塚があります。元弘の板碑や八国山将軍塚は鎌倉街道上道を語るうえでは無視できない存在です。私は学生の頃から都内で唯一の国宝建造物である正福寺千体地蔵堂に何度か訪れていました。その頃の私は、何故、この場所に国宝建造物があるのか不思議に思っていましたが、鎌倉街道に興味を持ち調べるようになってから、鎌倉と東村山市との繋がりは鎌倉街道上道を介していると少しずつわかってきました。

その鎌倉街道上道は古代の幹線道路を踏襲していると伝えられていて、所沢市の「東の上遺跡」では東山道武蔵路と思われる遺構が見つかり、次いで国分寺市でも300メートル以上の古代道路が発掘され、国分寺市から東の上遺跡までを、ほぼ直線で古代官道が通っていたことが確認されたのはまだ最近のことなのです。

東村山市内でも東山道武蔵路の可能性が考えられる古代道路遺構が発掘されていて、今度のウォーキングのテーマは「古代官道と中世鎌倉街道を比較する」とし、それに正福寺千体地蔵堂の見学も加えることにしました。北関東や蝦夷の防人はこの古代幹線路から武蔵府中に出て、その後は奥州古道や打越山遺跡で見つかった古代道路遺構のルートなどを通り、東海道で都へ、そして九州へと向かったのであろうと想像され、古のロマンへと誘うのでした。

平成19年12月2日(日)

「池上道を歩く」実施報告

ガイド：各務 湘一

池上道は古代の東海道・中世の鎌倉古道であり、近世の池上本門寺への参詣道路である。現在は品川・大田区の住民にとっては生活道路（池上通り）で、かって、この地域で暮らしていた私には馴染みの道である。そこで安易に案内する気になってしまった。

池上本門寺　五重塔

いざとなると、不明なことが多い。新馬場駅の馬場とは何か。品川神社や荏原神社に素戔嗚尊として祀られている牛頭天王とは何者か。品川歴史館付近は古代の駅家郷だが、どう読むのか。いや、それよりもどこにトイレがあるか。

北村美那子（石阪昌孝長女、透谷未亡人、町田ぼたん園は生家跡）が府立品川高等女学校（在任中に府立第八高等女学校に改称）の英語専任教諭に赴任したことは知っていた。しかし、当時の同校所在地が現在の大塚ろう学校品川分教室（ゼームス坂脇）であることは、今回、ようやく昭和初期の地図で確認できた。

江見水蔭という明治・大正期の大衆作家も初めて知った。尾崎紅葉の仲間であるが、大井権現台貝塚の発掘に熱中して、「地中の秘密」という考古学上の貴重な文献も残しているという。大森貝塚付近の池上通りで 道路遺構（鎌倉街道下ッ道遺跡）が発見されていることもわかった。八景坂は薬研坂が起源との説があることも知った。

大井町駅周辺の変貌に驚いた。何しろ、私の覚えている大井町は「時代屋の女房」（村松友視の小説・渡瀬恒彦・夏目雅子主演で映画化）に描かれている頃（25年前）の姿だったのだから。

日蓮宗７大本山のひとつ、池上本門寺では、万両塚・日樹五輪塔・清正供養塔、幸田露伴一家・花房義質・岡本柳之助・力道山・星亨（明治期の政治家・村野常右衛門・森久保作蔵・利光鶴松らの指導者）・狩野孝信・探幽・お万の方・花柳章太郎と墓めぐり。長い道のり、予定より 1 時間も超えながら無事に終えられたのは、参加された方々のご協力のおかげ以外にはなかった。

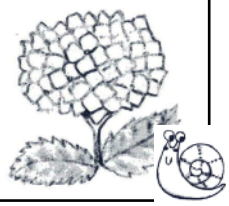
『ミニウォーク』から『ガイドウォーク』へ

調査研究部：中丸三次

新しい企画としてミニウォークが誕生したのは2006年10月8日であった。講師と参加者がお互いの知識、経験を交換しながら楽しく歩こうとの企画で、童謡「メダカの学校」のように「誰が生徒か先生か」の区別なく自由に発言の場を提供することで活性化を計った手作りのウォーキングを期待していました。当初はなかなか好評の様に感じておりましたが、一年を過ぎた頃から、参加メンバーが固定化していることに気づきました。また、ミニウォークのやり方はマニアック過ぎるとの指摘があることも分かりました。

この間、ミニウォークは2年半の間で 17 回行われ、担当された方は 15 人に及び、この方々には大変無理強いを致しお引き受け頂きましたが、掲げられたテーマはどれも素晴らしく魅力的で既に長い間研究されていたことを伺わせるものでした。「マニアック過ぎる」との批判は大変な評価を頂いたものと考えれば、もって瞑すべきであろうと思います。

これらのことを踏まえて、2007 年 9 月 10 日の役員会でミニウォークを「カイドリーダーと行く史跡探索ウォーキング」と名を替えて新たに出直すことが提案され、講師は役員会協議のうえお願いすることに決まりました。これまで行われたミニウォークのテーマと講師名は、第3回と第4回総会の活動報告書に記録されていますが、感謝の意を表すとともに、この企画を支えて頂いたミニウォークに御参加の皆様に御礼申し上げ、引き続き「ガイドリーダーと行く史跡探索ウォーキング」にご参加頂きますようお願い申し上げます。



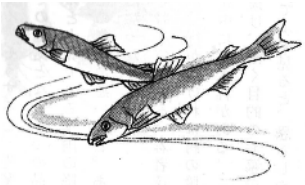
多摩の昔ばなし ②

寄せ網

井上正吉著『野翁小咄』より

大正の御代、多摩の流れは清流そのものであった。手や足に切り傷があっても、この川水に浸ると早く回復すると言われたのである。この多摩川の源流には石灰岩の山があってアルカリ性の溶岩がこの川水に含まれていたからともいうが、深い川の底までも透いて見え、そこに泳ぐ浄刺とした天然鮎の群、毎年六月一日がこの鮎の解禁日だった。この朝早く花火が打ち上げられる。待ち兼ねていた釣り師達は一斉に川面に釣り糸をたれる。

この鎌倉街道の川岸に木曽面という料亭があった。この家の由緒は鎌倉幕府の頼朝に対して仲の悪かった木曽義仲の探題であったらしい。もとは関戸下宿に居を構えて家運盛んな時代もあったらしく、現代でも村人が木曽面畑と呼ぶ地域が残されているのである。木曽面の当主であった道之助という人は、関戸渡船場の仕事を関戸村から承けて営み、夏は多摩川の鮎を採って料亭を営んでいたのである。川面に流れる三味線の音、それは田舎であった関戸村の人々には別しての驚きであった。



2008年初夏～初秋の歴史ロマン古道予定表（一部計画中を含む）

注）問合せ欄；(団)＝歴史古街道団、【協力団体】(里)＝鎌倉古道さとびとの会、(海)＝海陸古道研究会。
探索・学習テーマ欄；歩＝宮田太郎ウォーキング、学＝講演会／学習会、ガイド＝ガイドリーダウォーク

月日	集合場所･時間	探索・学習テーマ	参加費	申込み	問合せ先
6月10日(火)	小田急線／狛江駅改札前 09:30	【歩】品川道シリーズ「世田谷大蔵の戦い伝説と喜多見の氷川神社」	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
6月19日(木)	①JR横浜線／淵野辺駅 改札口前 09:00 ②小田急線／本厚木駅 中央口改札前 09:15	【歩】厚木・八菅山の修験の里とヤマトタケル伝説を探る	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534
7月３日(木)	小田急線／玉川学園駅 改札前 10:00	【歩】かしの木山の鎌倉古道と鞍掛けの松を歩く、玉川学園～成瀬	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
7月５日(土)	関戸公民館8Ｆ第3学習室 聖蹟桜ヶ丘駅徒歩3分 10:00	【学】幻のオリジナル・ビデオ“ザ・早ノ道”鑑賞会	団員:300円 一般:300円	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534
	小田急相模原線／栗平駅 改札口前　13:30	【歩】絶景！“鎌倉街道早ノ道”栗木・真光寺尾根をゆく	団員:400円 一般:700円	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534
7月21日 (月・祝)	京王線／聖蹟桜ヶ丘駅 西口改札口前07:45	【バス】古代甲州道を探せ！八ヶ岳山麓・富士見信濃境編、先着 24名	7,000円 (昼食・拝観別)	〆切 7月11日	(団)宮田 TEL042-389-5534
8月３日(日)	JR根岸線／石川町駅・元町中華街出口改札前 09：00	【歩】海人と馬牧の丘・本牧和田山と三溪園を探る★お馬流し神事を見学	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
8月21日(木)	新宿住友ビル３階 ３２号教室	【事前講座】京都“東山・宇治・醍醐”の歴史と古道の魅力★朝日カルチャーセンター新宿・提携講座、先着30名	2,940円 (会員特別価格)	満員になり次第〆切	朝日カルチャーセンター新宿 TEL03-3344-2041
9月５～６日 (金～土)	京王線／聖蹟桜ヶ丘駅西口改札口前07:45	【バス1泊2日旅行】『木曽の開田(かいだ)高原(こうげん)・木曽馬の里と鰤(ぶり)街道の謎』、先着 24名	19,700円 (参加費)	〆切 8月22日	郵船トラベル㈱ 諸井 TEL03-5213-6237
9月13日(土)	JR横浜線／橋本駅改札前 09：30	【ガイド】築井（津久井）紀行　小山田与清の道をだどるーⅠ	団員:500円 一般:700円	当日	(団)田中 TEL042-782-4263
9月23日 (火・祝)	JR京浜東北線／大宮駅 改札前広場 ”豆の木”下10:00	【歩】大宮氷川神社と直線参道の謎	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534
9月30日(火) ～ 10月２日(木)	東京駅、銀の鈴前集合08:30	【2泊3日旅行】まほろばの里・飛鳥山ノ辺の道と天香具山を歩く (NHK学園提携ツアー)、先着 40名	98,500円 (2名/室)	〆切 9月20日	郵船トラベル㈱ 諸井 TEL03-5213-6237
10月７日(火)	東急東横線／都立大学駅 改札前 10:00	【歩】品川道シリーズ 、八雲氷川神社と碑文谷八幡の石碑の謎	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
10月11日(土)	JR横須賀線／大船駅南口 改札前　10：00	【歩】大船・田谷の仏教洞窟探検と長尾砦を探る	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
10月23～24日 (木～金)	東京駅、銀の鈴前集合	【１泊２日旅行】紅葉の京都“東山と宇治”の歴史古道を探る★朝日カルチャーセンター新宿・提携ツアー、先着40名	75,000円 (予定)	〆切 10月９日	郵船トラベル㈱ 諸井 TEL03-5213-6237
10月25日(土)	JR横浜線／橋本駅 改札口前 09:30	【ガイド】築井（津久井）紀行　小山田与清の道をだどるーⅡ	団員:500円 一般:700円	当日	(団)田中 TEL042-782-4263

※２００８年度･年会費はお早めに納入願います　※入団希望者受付中！年会費 3,000 円（ご家族は２人で 3,000 円）
☆郵便振込口座番号/00140-7-445195　☆口座名/歴史古街道団　※入団等に関するお問い合せ☎070-6555-6362（庄司）

編集後記

新緑のさわやかな季節となりました。「歴史古街道団」も正式発足から４年目を迎え、団報 10 号の発行にこぎつけました。限られた紙面の中で少しでも皆様のご意見ご要望にお応えできる団報をめざして頑張っています。皆様のお声をお待ちしています。

編集責任：歴史古街道団広報部（河村・金子・遠藤）

【発行】歴史古街道団
事務局：〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘 4-36-21 APT1･2･3-302
宮田太郎（歴史古街道団団長）　TEL/FAX　042-389-5534
http://homepage3.nifty.com/kokaido/